

第三次北九州市食育推進計画政策の柱ごとの指標と評価

資料3

柱	指標	対象	ベースライン値 (平成29年度)	現状値 (令和4年度)	目標値 (令和5年度)	評価		【参考】国
								R3年度
食育の推進による健康で生き生きとした食生活の実践	朝食をほぼ毎日食べる者の割合	幼児	92.7%(※1)	92.3%	100%	C	C	—
		小学生	93.0%(※1)	90.3%		C		84.8%※2
		中学生	92.5%(※1)	88.7%		C		79.9%※2
		20～30歳代男性	53.0%	46.7%	85%以上	D	55.4%	
	野菜を1日に2回以上食べている者の割合	19～39歳	26.0%(※1)	27.2%	60%以上	C	—	
	1日あたりの食塩摂取目標量が8g未満であることを知っている者の割合※4	20歳以上	56.6%	39.8%	70%以上	D	—	
	主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を1日2回以上ほぼ毎日食べる者の割合	20歳以上	43.7%	43.1%	70%以上	C	C	37.7%
		20～30歳代	26.5%	27.3%	55%以上	C		29.8%
	生活習慣病予防や改善のため、食生活に気をつけている者の割合※5	20歳以上	67.4%	76.5%	75%以上	A	64.1%	
	ゆっくりよく噛んで食べる者の割合	20歳以上	47.1%	44.6%	55%以上	D	47.9%	
食育に関心のある者の割合	20歳以上	77.9%	74.8%	90%以上	C	79.5		
食にまつわる環境の整備 社会環境	食品購入時に栄養成分表示等を参考にしている者の割合	20歳以上	58.6%	46.0%	70%以上	D	—	
	健康づくりを推進する飲食店等食品関連事業者の増加	食品関連事業者	739店舗	839店舗 (R5.1現在)	900店舗	B		
	食生活改善推進員が取り組む活動への参加者数の増加	参加者	368,934人	20,653人 (R3年度)	増加	D		
地産・安心・心の消費の推進	市内産・県内産を買うようにしている者の割合	20歳以上	68.3%	65.7%	86%以上	C	74.8%	
	食品を捨てる量(生ごみ)を減らすために行っていることがある者の割合	20歳以上	62.1%	92.0%	80%以上	A	18歳以上 78.3%(※3)	
	健康に悪影響を与えない食品の選び方や調理についての知識がある者の割合※6	20歳以上	62.8%	72.8%	88%以上	B	B	74.80%
		30歳代男性	36.4%	54.0%	55%以上	B		58.80%

※1:平成28年度北九州市健康づくり実態調査

※2:令和4年度全国学力・学習状況調査

※3:令和3年度消費者の意識に関する調査結果報告書(食品ロスの認知度と取組状況等に関する調査)

他国調査は、「食育に関する意識調査報告書」(令和4年3月 農林水産省)

※4:質問項目を「1日あたり適正な食塩摂取量が8g未満であることを知っていますか」から「生活習慣病予防のための1日の食塩摂取の目標量を知っていますか」へ変更

※5:質問項目を「生活習慣病の予防や改善のために、食生活に気をつけていますか」から「生活習慣病予防のために実践していることは何ですか」とし、選択肢の中から、1. 栄養バランスや量、2. 食事の時間帯、3. 薄味・塩分控え目、6. お酒の量を控える、休刊日をとるを選択した者の割合を集計

※6:質問項目を「食品の安全性に関する基礎的な知識があると思いますか」に変更し、安全な食生活を送るための知識の例示に変更